



イノシシに係る対策について

令和6年4月28日に県内施設で、来園者がイノシシに襲われる事故が発生しました。

今後、同様の事故を予防するため、イノシシの生息が確認されている地域やその周辺では、以下の点に御注意ください。

1 イノシシは私たちのすぐそばにいる

- ・イノシシは人里離れた山の中ではなく、私たち人間の暮らしに寄り添って生きる「里山の動物」です。市街地に近い公園や緑地にも、当然のようにやって来ます。
- ・イノシシには、ひっきりなしに地面を掘り返す習性があります。掘り返し跡は、イノシシが頻繁に訪れている証拠です。
- ・人間がすぐそばまで近づいても、シダなどの茂みでじっと息を殺して潜んでいることがあるとされます。



公園内の園路沿いに見られる
イノシシの掘り返し跡



典型的なイノシシの潜み場所と
されるシダの茂み

2 イノシシに遭遇しないために

- ・イノシシは臆病で警戒心が高い動物です。人の活動時間を避けて、夜間や薄暮期に活動することが多いですが、警戒心が弱まると昼間にも活動します。エサを与えたりすると、人馴れし、人の生活圏に出没しやすくなる可能性があるため、絶対にやめましょう。
- ・イノシシの餌となる野菜くずや生ごみを野外に放置すると、誘引してしまう可能性があるのでやめましょう。

- ・イノシシの目撃情報が付近に寄せられている場合、イノシシの活動域である山林にはなるべく近づかないようにしましょう。
- ・草藪等を定期的に刈り払い、見通しをよくし、イノシシが近づきにくい環境を整備しましょう。

3 イノシシに遭遇した際には

- ・決して近づかず、静かにその場を離れてください。
- ・石を投げたり、急に走ったりするなど、イノシシを刺激するような行為は絶対にしないでください。
- ・イノシシが突進してきたら、樹木、石垣やフェンスなどの構造物によじ登って回避することが最も確実です。登ることができるものがない場合は、木など近くにある障害物の後ろに隠れてください。
- ・近くにいる母親が襲ってくる可能性があるため、ウリ坊（イノシシの子供）を見かけても、決して近づかないでください。

4 その他

- ・イノシシ対策として、わなや電気柵等が設置されていることがあります。危険ですので、これらには近づかないようにしてください。

